

# 北陸総合通信局が防災訓練を実施

総務省北陸総合通信局（局長 吉武 久）は、平成28年1月14日（月）、災害発生を想定して、防災訓練を実施しました。

訓練では、非常参集職員を参集し、局長を本部長とする「非常災害対策本部」を設置し、局長室に本部を設置運営するための機器搬入・動作試験を行いました。合わせて、非常参集要員の事案別タイムライン作成範囲を拡大する対応を確認しました。

北陸総合通信局では毎年9月を目途に、災害時における対応の向上を目的に防災訓練を実施していますが、今年は、9月に発生した台風16号及び18号に応じて、非常災害対策本部に準じた体制を整え、災害に備えたため、訓練を延期していました。

9月には、地方自治体との連絡体制を確立し、電気通信事業者や放送事業者との連絡体制を確立し、被災状況の確認を行い、災害対策用移動通信機器、災害対策用移動電源車、臨時災害用FM送信機貸与について周知を行いました。↘



【訓練】  
北陸総合通信局  
非常災害対策本部

【訓練】  
局長を本部長とする  
北陸総合通信局  
非常災害対策  
本部を設置

## 北陸総合通信局が災害時に貸し出す機器



### ▲災害対策用移動通信機器

左から、簡易無線機、MCA無線機、衛星携帯電話。

### ▲災害対策用移動電源車

※ 通信機器は自治体等に、電源車は電気通信事業者や放送事業者等に貸し出します。

↘このほか、北陸総合通信局では平成28年においては、北陸3県（富山県、石川県、福井県）が主催する総合防災訓練等に参加し、臨時地デジ中継局の開設訓練、臨時災害放送局の開局訓練、災害対策用移動通信機器等の展示を行っています。

北陸総合通信局では、今後も、災害発生に備え平時から関係機関との連携を強化するとともに、災害時における対応を迅速に行えるよう、日頃から訓練などに取り組んでいきます。

お問い合わせ先

総務部総務課 076-233-4411